

地域と“共に”生きる信用金庫

城南信用金庫の経営内容について

2026

上半期

2026年4月1日から9月30日の6ヵ月間

ディスクロージャー誌

Johanan Shinkin Bank

当金庫の概要（2026年9月末現在）

設立 / 1945年 8月 会員 / 242,764 名 出資総額 / 434 億円 従業員 / 1,939 名
本店 / 東京都品川区西五反田 7-2-3 店舗 / 86 店（うち有人出張所 2・インターネット支店 1）

TOPICS

城南ものづくりコンソーシアムサービス

2025年4月に始まった本サービスは、参加企業が180を超え、53件の発注案件があり、うち20件が成約しました。また、2026年9月8日には、大手企業と本サービスの参加企業をつなぐ商談会を本店講堂で開催し、29組の商談が行われました。



建設案件紹介サービス「ツナガル」

2025年4月に始まった本サービスは、参加企業が180を超え、参加企業と連携する大手建設関連企業との受発注が6件成立しました。また、2026年4月16日には、参加企業同士の交流会を開催し、21社に参加いただきました。



創業支援イベント ～ Small Biz コネクト～

2026年6月4日に「企業価値を高めるサービス・プロダクト」をテーマに創業支援イベントを開催しました。スタートアップ企業7社が登壇し、154名の来場者に向けて、サービスの特徴や開発への思い、今後の展望を発表しました。本イベントを通じて、登壇企業と来場者との新たな連携が生まれるなど、今後の事業成長につながる有意義なイベントとなりました。



「第15回城南信金CUP」 「第12回城南信金ガールズCUP」が開幕

当金庫は、城南地区(目黒区、品川区、大田区、世田谷区)の学童野球チームが他区チームとの交流戦を行うことで、こどもたちに夢や希望を持っていただくことを願い「城南信金CUP」「城南信金ガールズCUP」を開催しています。

2026年9月27日
大田スタジアムにて「第15回城南信金CUP」「第12回城南信金ガールズCUP」の開会式が行われました。



生成AIの活用

当金庫では、金庫の業務効率化および役職員一人ひとりの生産性向上を図り、そこで捻出した時間をお客様と接する時間にシフトしていくため、株式会社neoAIが提供する「neoAIChat」を導入し、生成AIを金庫業務で活用しています。

2025年9月に、京都中央信用金庫、株式会社neoAIとともに、信用金庫同士によるナレッジ共有や人材育成等を目的とした信用金庫生成AI共同研究会「“GEN(ジェン)×しんきんラボ” supported by neoAI」を発足して以降、毎月活動を行っています。

2026年9月25日、12回目の活動を当金庫本店を会場に実施しました。



「つながる、つくる、わたしたちのまち」 Webコミュニティサイト「キャッスルタウン」始動発表会を開催

当金庫は、2026年9月4日、地域に分散している行政情報や防災・防犯情報、地域イベント情報、助成金・補助金情報等を集約・可視化し、必要な情報を必要な人に届ける新しいWebコミュニティサイト「キャッスルタウン」の始動発表会を開催しました。

コンセプトは、「つながる、つくる、わたしたちのまち」単なる情報発信サイトにとどまらず、住民、事業者、行政、金融機関が相互につながり、ともに地域をつくりあげていく「地域共創の場」をめざします。

第一弾は、2024年6月に包括連携に関する協定を締結した品川区から取組みをスタートする予定です。



▲始動発表会にて。左から日本アイ・ビー・エム株式会社 孫工常務執行役員、林理事長、品川区森澤区長

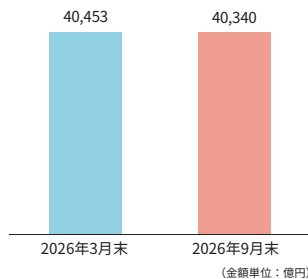


城南信用金庫は、地域の皆が集い、
集った皆さんが笑顔となる
地域・コミュニティの「プラットフォーム」をめざします。

1 業績について

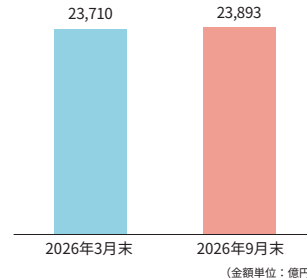
預金残高

4兆340億円



貸出金残高

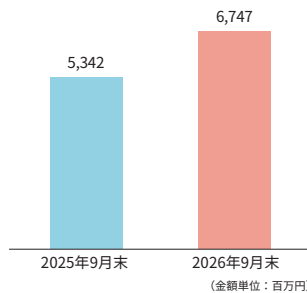
2兆3,893億円



2 収益について

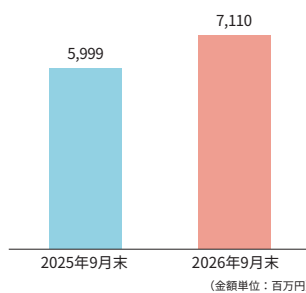
業務純益

67億47百万円



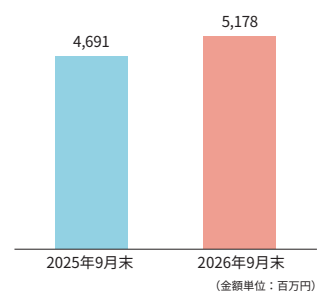
経常利益

71億10百万円



当期純利益

51億78百万円



3 自己資本比率について

$$\text{自己資本比率} = \frac{1,919\text{億円(自己資本の額)}}{1兆7,366\text{億円(リスク・アセット等の額の合計額)}} \times 100 = 11.05\%$$

4 有価証券の状況について

2026年9月末における有価証券の保有状況は次の通りです。

(金額単位：百万円)

	帳簿価額	時 価	評価差額
株 式	431	611	179
上場株式	87	267	179
非上場株式	313	313	—
子会社・子法人等株式	30	30	—
債 券	436,288	377,604	△58,683
国債	189,134	149,292	△39,841
地方債	109,165	95,357	△13,808
社債	137,988	132,954	△ 5,033
投資信託	—	—	—
外国証券	—	—	—
その他の証券(組合出資金)	725	725	—
合 計	437,445	378,940	△58,504

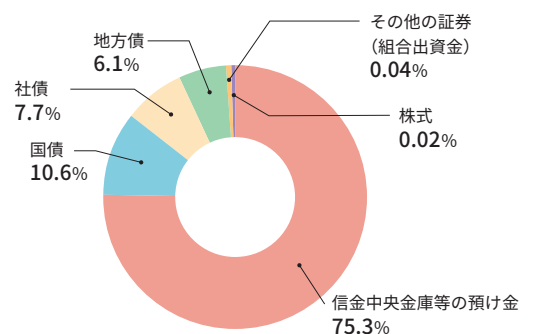
※評価差額は、市場金利の上昇による影響を受けていますが、保有する国債や地方債など、国内債券によるものであり、リスクの高い有価証券の保有はございません。

※評価差額の中には満期保有目的の債券に係るものも含まれています。

5 余裕資金の運用について

貸出金以外の運用については、信金中央金庫等の預け金がほとんどであり、リスクの少ない安全な運用に徹しています。

帳簿価額ベースの運用割合は、以下のグラフの通りです。



6 債務者区分別貸出先数・貸出金残高等、分類貸出金

当金庫では、全貸出先について自己査定を実施していますが、自己査定にあたっては、まず債務者の財務や経営実態に応じて、正常先から破綻先までの5段階に債務者区分を行います。その結果が次の「債務者区分別貸出先数・貸出金残高等」です。

債務者区分別貸出先数・貸出金残高等

(金額単位：億円)

		先 数	金 額 (構成比)
正 常 先	業況が良好で、財務内容にも問題のない先	41,397	15,715 (65.8%)
要 注 意 先	今後の管理に注意を要する先	8,484	7,348 (30.8%)
内訳A	貸出条件緩和債権がなく、かつ期限経過・延滞が1ヵ月未満の先	8,467	7,300 (30.6%)
B	貸出条件緩和債権があり、かつ期限経過・延滞が1ヵ月未満の先	14	25 (0.1%)
C	期限経過・延滞が1ヵ月以上3ヵ月未満の先、ならびに要管理先のうち、無保全額が多額で、将来においてリスクの発生する可能性が高く、個別に引当を行うことが望ましい先	3	22 (0.1%)
破綻懸念先	事業は継続しているものの、今後、経営破綻に陥る可能性がある先	1,752	697 (2.9%)
実質破綻先	実質的に経営破綻の状況に陥っている先	205	52 (0.2%)
破 綻 先	法的・形式的に経営破綻の事実が発生している先	74	18 (0.1%)
国・地方公共団体 (回収について危険性がなく、債務者区分を行っていません)		2	62 (0.3%)
合 計		51,914	23,895 (100.0%)

次に、債務者区分毎に、担保・保証等による債権回収の可能性を精査して、貸出金をⅠ(非)分類からⅣ分類までの4つのランクに分類します。その結果が次の「分類貸出金」です。

分類貸出金

(金額単位：億円)

	金 額 (構成比)	償却・引当予定額
Ⅰ(非)分類 回収について問題のない貸出金	18,456 (77.2%)	
Ⅱ分類 回収について注意を要する貸出金	5,439 (22.8%)	
Ⅲ分類 回収について重大な懸念がある貸出金	0 (0.0%)	0
Ⅳ分類 回収不能と判定される貸出金	— (—)	—
合 計	23,895 (100.0%)	0

※2025年度以前に引当てした貸出金はⅠ(非)分類となっています。

※Ⅲ分類、Ⅳ分類の貸出金は2026年4月1日から2026年9月末までに発生したものを計上しています。

2026年9月末現在、Ⅲ分類、Ⅳ分類の貸出金は合計0.1億円ありますが、これについては、決算時に全て償却・引当処理し、当金庫の不良債権は実質ゼロとなる見込みです。

なお、分類貸出金については、法律で開示が義務付けられていないため、開示していない金融機関がありますが、当金庫は、経営内容をガラス張りにして開示する観点から自主的に開示しています。

7 信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分

「信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分」は次の通りです。このうち、「危険債権」と「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の無保全額については、引き続き回収に鋭意取組んでまいります。万一、年度末までに回収できない場合は、決算時に全て償却・引当処理する見込みです。

(金額単位：億円)

	金 額 (構成比)	うち無保全額	償却・引当予定額
正常債権	23,113 (96.7%)		
要管理債権	29 (0.1%)		
3ヵ月以上延滞債権	— (—)		
貸出条件緩和債権	29 (0.1%)		
危険債権	698 (2.9%)	0	0
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	71 (0.3%)	—	—
合 計	23,911 (100.0%)	0	0

※「金額(構成比)」は、単位未満を四捨五入しています。

※預金担保貸出金は、要管理債権には該当しないため、要管理債権から除外しています。

(注) 各計数は、原則として単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。

第65回懸賞金付き定期預金「スーパードリーム」の募集を開始

当金庫は、2026年10月1日より、第65回懸賞金付き定期預金「スーパードリーム」の募集を開始しました。

第65回では、懸賞金(品)総額を大幅に増額させて11億350万円としました。

また、100万円以上お預け入れいただいたお客様を対象に、1等10万円(税引前)が10本連続で当選すると、最高100万円(税引前)が当たる「ドリーム大賞」を復活させました。



シニア世代のお悩みに寄り添う商品・サービス

公的年金の受取口座を当金庫にご指定いただき、一定の条件を満たしたお客様に1万円相当の「特典サービス」を進呈する、特典付き年金受給口座「シルバードリーム」を取扱っています。

また、当金庫で公的年金をお受け取りのお客様を対象に、初回預入期間に限り、特別金利を適用する定期預金「年金受給者専用定期預金 アクティブ☆シニア」も取扱っています。



全国の信用金庫による

ものづくり&食品 展示商談会

約500社出展！新たな商談機会のチャンス！
東京ビッグサイトで開催！

入場無料

12/8(火) 10:00~17:00
9(水) 10:00~16:00

東京ビッグサイト 南3・4ホール

2026 “よい仕事おこし”フェア

日本全国から、ものづくりや食品関係の事業者、
地方自治体・団体など500社超が集う展示商談会！
新たな発見や出会いが生まれる

“よい仕事おこし”フェアへ是非ご来場ください!!

ものづくり	食品	地域連携
① 機械・金属 ② 環境・暮らし ③ ものづくり全般	① 菓子 ② 加工食品・飲料 ③ 地域特産品	各都道府県の自治体/ 各種団体等

出展企業の情報は
特設サイトをCheck!



「よい仕事おこし」フェア実行委員会事務局
お問い合わせ先 TEL.03-3493-8130 (受付時間: 平日/9:00~17:00)
E-mail. yoishigoto-fair@jsbank.co.jp



城南信用金庫

〒141-8710 東京都品川区西五反田7-2-3
TEL. 03(3493)8111 (代表) <https://www.jsbank.co.jp>

